

敬意と祝福

2013年2月15日 アシェル・イントレータ

十戒には親子についての記述が2カ所あります。両方とも、霊的なものが親から子へ伝えられるということが示されており、片方は悪いもので、もう一方は良いものなのです。

出エジプト記 20:5

...父の咎を子に報い

出エジプト記 20:12

あなたの父と母を敬え...あなたの齢が長くなるためである。

否定的な霊的遺伝は、「呪い」と呼ばれ、肯定的なものは「祝福」といいます。私たちが呪いの中にある時は、私たち自身の罪を悔い改める必要があります。両親を許して、ネガティブな遺伝情報を断ち切る必要があるのです。

うまく子供から成長した大人へとなるには、両親からの影響のうち、どれが肯定的なものでどれが否定的なものかということを見極めることが、鍵となります。そうした後、否定的なものを拒否して、呪いを打ち破っていくのです。では、祝福の方はどうすれば受取っていくことが出来るのでしょうか。

ひと言でいうと「honor(敬意を払うこと、光栄、名誉をも意味する: 訳注)」です。敬意を払うことは、すなわち祝福を受取ること。順序は、権威に対して敬意を表し、そののち祝福を受けるのです。敬意は上へと流れ、祝福は下へ流れます。「流れ」は上方向へも下方向へも発生し、良くも悪くもなり得るのです。

使徒パウロ(シャウル)はこの原理についてエペソ人への手紙の中で展開しています。祝福とは単に長寿だけではなく、他の様々な祝福も含まれています。また権威とは、親の権威のみではなく他の領域にも適応されます。

エペソ 6:2

「あなたの父と母を敬え。」これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。

パウロは、権威の流れを、家族(エペソ 5:21-6:4)、職場(6:5-6:9)、政府(ローマ 13:1-7)、教会(1 テモテ 3:1-13; 5:17; ヘブル 13:17)といった人生の4つの領域に分けて説明しています。

どうぞ主が私たちに知恵を与え、私たち自身が害を被らないよう、いつ権威を乱用する権威者から

逃れるべきか、呪いを打ち破るため、いつ否定的な影響を拒絶していくか、また、いつ権威者に対し敬意を表し、祝福を受けていくかを見極めることができますように。

地上の権威者を敬うことによる全ての祝福は、不完全なもので、部分的でしかありません。しかし、私たちは、神を賛美し礼拝することにより、天から直接祝福を受ける事ができます。

黙示録 7:12

賛美と栄光と知恵と感謝と誉れと力と勢いが、永遠に私たちの神にあるように。

私たちが主に向かって栄光を捧げるのに応じて、主は、栄光をもって、力強く、また永遠に、私たちに祝福を注いで下さいます。ハレルヤ。

剣をもつ主

フランシス・フランジペインから引用

「イエス=Jesus」という名前は、「Yeshua」のギリシャ語版で、ヘブライ語では、神の民を率いた將軍「ヨシュア」と同じ名前です。私たちは、この終わりの時に表される通り、武具をまとった聖なる戦士としてイエスキリストを理解する、大いなる啓示を必要としています。

ヨシュアがエリコの近くにいたとき、彼が目を上げて見ると、見よ、ひとりの人が抜き身の剣を手に持って、彼の前方に立っていた。ヨシュアはその人のところへ行って、言った。「あなたは、私たちの味方ですか。それとも私たちの敵なのですか。」--- ヨシュア 5:13。

この神の御子に関する新しい一面の啓示は、あなたを闘いに備えます。あなたが訓練を全うした時、あなたは主の軍隊において、恐れを知らない戦士となります。しかし私たちは自分自身の現状を把握しておく必要があります。それは私たちの殆どはまだおむつをはき、自分をコントロールする術を知らないのです。

抜き身の剣をもち、戦闘の雄叫びを口から放つ、この恐るべき戦士なる王は、私たちの罪のために十字架で死なれた、同じ栄光の救い主なのです。それでも私たちはこのキリストの大いなる啓示に対して、驚きを隠せません。

ヨシュアは、荒野の幕屋で、親密で素晴らしい方法で、すでに主を知っていました（**出エジプト記 33:11**）。しかし今ここに主の新しい啓示である方が、前に立っておられるのです。神の御子ご自身が万軍の将としてご自分の民を率いてやって来るのです。

最終的にはこれらのエジプトからの難民と荒野で生まれた彼らの子供たちは、自分たちよりも強く大きな国々を倒していくわけです（申命記 9:1）。彼らは不可能であることを、主の力を通してやり遂げていきます。荒野での年月は彼らを戦闘に備えるためのものだったのです。

同じように私たち自身の「荒野」は、私たちが整えられ従順となるための期間です。イエス様が再臨されるまでに、荒野のテストに合格した者は、新しい啓示を受けます、それは万軍の将たるキリストなのです。彼らはその子羊たる主が行くところは、どこへでもついて行く覚悟が来ています。

ヨシュアは顔を地につけて伏し拝み、彼に言った。「わが主は、何をそのしもべに告げられるのですか。」すると、主の軍の将はヨシュアに言った。「あなたの足のはきものを脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である。」(ヨシュア5:14-15)

主が新しくご自身を顕されたこのことは、聖です。今私たちは、主が本来どのようなお方で、終わりの時にどのように来られるかを理解し始めたところなのです。主は万軍の主なのです。

メッセージ全体は[こちら](#)をクリック。(英語)

祈り続けて下さい

- アルカイーダ系の反逆者たちが、ミサイルや戦闘機のあるシリアの空軍基地を占拠しました。神がイスラエルを、またシリアにいるキリスト教徒を守って下さるようお祈りください。
- ネタニヤフは可能な限り広範な連立政権を目指していますが、まだ実現していません。正しい政策ガイドラインと連立政党のためお祈りください。
- 私たちの姉妹コングリーションであるエルサレムのアハヴァット・イエシュアと、テルアビブのティフェレット・イエシュアの健康、成長と愛のためお祈りください。
- カトリック教会で新しく選ばれる、最善の法王の選出があるようにお祈りください。

エステル断食

来たる木曜日 2月21日は、「タアニット・エステル(エステル断食)の日です。幾つかのコングリーション、祈りの家が、エステル記のテーマに従ってイスラエル、教会、国々の執り成しのために祈りに参加します。どうぞ当日の12時間連続(イスラエル時間朝6時から夕方6時まで=日本時間昼1時~夜中1時)の祈り、賛美、預言にご参加ください。

祈りの課題と徹夜賛美のリストは[こちら](#)をご覧ください。

木曜日の祈りの部屋でのライブにご参加される方は[こちら](#)をクリックしてください。

終わりの時のリバイバル

世界中でやがて起こるリバイバルについての、アシエルの新しいYouTubeメッセージをご覧ください。
[こちら](#)をクリック。